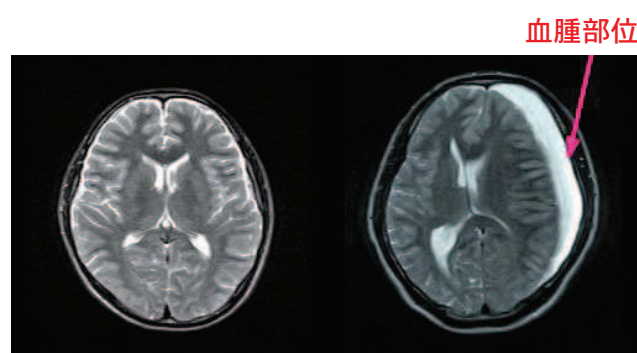


診断

問診・症状より慢性硬膜下血腫を疑いますが、診断を確実にするにはＣＴスキャンまたはＭＲＩが有効かつ必須です。



ＭＲＩ：正常

慢性硬膜下血腫

治療

基本的な治療法としては脳神経外科的治療が推奨されています。当院では脳神経外科がありませんので、診断がつき次第、専門医が常勤する病院へ紹介しています。

最後に

慢性硬膜下血腫のほとんどは、正しく診断がなされタイミングを逸することなく治療が行われれば完治する予後のよい疾患です。そのためには、急に認知症状が見られた場合には慢性硬膜下血腫を疑うことも重要で、当院を含め最寄りの医療機関にご相談いただけたらと思います。

特集 おいしく食べて、病気予防

第3集 嚥下障害（飲み込みが悪い）の方にやさしい「ソフト食」について（その三）

山都町立蘇陽病院 栄養科調理師 中原 美鈴
監修 院長 水本 誠一

家庭の食事作りをずっとしてきた私が、病院調理師として勤務して2年目になります。

病院の食事作りを経験してみると、患者様の人数はもちろんのこと、病状の変化に伴って食事内容も刻々変化し、その変化に応じて作っていかねばいけないこと、そしてその治療食は細やかな作業が要求されること等その大変さをつくづく痛感しました。更に、自分の身のまわりだけでなく、調理室及び調理器具等の清掃消毒を徹底的に行い清潔を保たなければならないということでした。

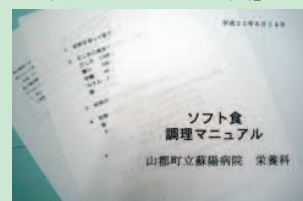
そんな中で普段の治療食作りとは別に、ソフト食作りが始まり私も参加しました。栄養科内で試作・試食・検討を何度も繰り返しました。先生方にも試食していただき貴重な意見をいただきました。

市販の「ソフト食」も出回ってきましたが、コスト面から有利で食感の良い、当院独自のソフト食をやったの思いで完成することができました。

また、誰が作っても同じものが作れるようにマニュアルも完成しました。今後、このマニュアルに沿って作り、嚥下障害（飲み込みが悪い）の方にやさしい「ソフト食」を提供していきます。

最初は何も判りませんでしたが、同僚の方々のお陰で仕事も徐々に覚えてきました。患者様それぞれに合わせた食事作りに多忙な毎日ですが、おいしそうに食事をとられている患者様の姿をみると、「安全な食事作りをしなくてはならない」と責任を感じる今日このごろです。やりがいのある仕事なので、今後も頑張っていきたいと思います。

なお、ご家庭や施設などで「ソフト食」を作りたい方はマニュアルをご提供致しますのでいつでもご連絡ください。



蘇陽病院だより

～蘇陽病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します」

特集

知って得する健康講座

第25集 慢性硬膜下血腫

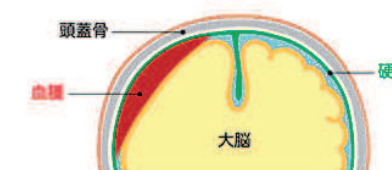
山都町立蘇陽病院 医師 米山 哲司

はじめに

「認知症」とは、正常であった脳の知的な働きが、生まれてからしばらくたってから起きたいろいろな病気によって、持続的に低下した状態のことです。その原因となる病気には多くのものがありますが、大半は、脳血管性認知症（脳の血管に異常が起きた結果、認知症になるもの）とアルツハイマー型認知症（脳の細胞が変性・消失した結果、脳が縮んで認知症になるもの）で、認知症全体の8割から9割を占めると考えられています。残念ながらこれらの認知症を完治する方法はありませんが、残りの1から2割の中には治療できる認知症もあります。今回はそのようなタイプの認知症をきたす疾患の1つである慢性硬膜下血腫のお話です。

慢性硬膜下血腫とは

頭部の頭蓋骨の下にある脳を覆っている硬膜の下、脳との隙間に血（血腫）が貯まる病気で、血腫が脳を圧迫して様々な症状を示します。高齢で男性に多く見られます。



慢性硬膜下血腫の原因は

一般には軽微な頭部外傷により、脳と硬膜を繋ぐ橋静脈が破裂することで起こります。しかし頭部外傷があったかどうか分からない場合にもみられることもあり、以下のことが発症に影響するともいわれています。

- 1) 大酒飲み
- 2) 脳に萎縮があり、骨と脳との隙間が広い
- 3) 血が止まりにくい（出血傾向がある）
- 4) 脳梗塞の予防の薬（血液サラサラの薬）を飲んでいる
- 5) 頭部手術の術後
- 6) 透析をしている
- 7) 硬膜に癌がある

症状

典型例では簡単な頭部外傷後、数週間の無症状期を経て頭痛、嘔吐などの頭蓋内圧亢進症状、片側の麻痺（片麻痺）やしびれ、痙攣、言葉がうまく話せない（失語症）などの局所神経症状、呆けや意欲の低下などの精神障害と、さまざまな神経症状が見られます。

若年者では主に頭蓋内圧亢進症状や局所神経症状がみられます。

高齢者では潜在する脳萎縮のため頭蓋内圧亢進症状は少なく、痴呆などの精神症状、失禁、片麻痺（歩行障害）などが主な症状です。尚、痴呆だけで発症することもあります。